Reading Square

Yusuke Hasegawa Braven Smillie



はじめに

『Reading Square』にようこそ! 本書は新時代を生きる皆さんのために制作された新しいコンセプトの英語テキストです。皆さんに学んでほしい最新のトピックを厳選し、楽しく読める 15 章分の英文を書き下ろしました。教室でクラスメイトと学ぶ人も、あるいはオンライン授業等で学ぶ人も、本書に出てくる総勢 12 名のキャラクターたちと一緒に英語の世界に飛び込んでみましょう。本書のコンセプトは次の 3 つです。

1 仲間と協同的に学ぼう!

英語の授業では仲間との交流が大切です。各章の最初に簡単な意見交換のテーマが提示されています ので、仲間と英語で話し合ったりインターネットで調べたことを共有したりして、お互いの学びを深め ましょう。英文を読んだ後、皆さんにはバラバラな意見を持つ4人のキャラクターの発言を比較しても らいます。この活動により、皆さん自身が対話に参加するための準備も整っていくでしょう。そして、 各章の最後では、より自由度の高い意見交換ができるようになっています。皆さんの思考力は仲間との 対話を通してさらに高まるはずです。

2 想起活動で知識を深めよう!

文章中の英語を「理解する」ことは得意でも、英語で「伝える」ことは苦手だという人も多いでしょ う。実は、理解した表現が使えるようになるには、その表現を「思い出す」という学習過程が不可欠です。 本書には、英文の内容を自分なりに思い出す活動が散りばめられています。テストの問題ではありませ んので、必ずしも完璧に答えられなくても大丈夫です。前後の文脈を思い出そうとすることで英単語の 知識も定着していきますので、ぜひ楽しみながら気楽にチャレンジしてみてください。

3 要約力を段階的に高めよう!

読んだり聞いたりして理解した内容を自分なりに整理するというスキルは、現代社会においてたいへん重要です。本書は、そんなサマライゼーション(要約)の技能を養うのに最適の教材です。準備段階では穴埋め課題という形で要約文のサンプルを見ることができますので、英語が苦手な人でも安心して 要約に挑戦することができます。また、英文中の表現を拾い集めていくことで新たな要約文を創作できるような仕掛けも施されています。だんだんコツがつかめてきたら、最終的には自分なりの表現で要約してみましょう。

また、学習のペースを作りやすいように、本書では英文の長さを約 350 語に統一してあります。つ まり、どの英文であっても7分間で読めば「50 wpm*」、3分 30 秒で読めば「100 wpm*」という読 解速度になるわけです(*wpm は words perminute の略です)。ぜひ皆さんも自分のタイムを計測し ながら読んでみてください。

さあ、ここからは英語の時間です。一緒に新しい世界に踏み出しましょう!

Table of Contents

はじめに・・・・・	3
本書の構成と使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
音声ファイルの利用方法・・・・・・	8
参考 URL リスト	99

Technology and Mind			
Unit 1	Who's Flying the Plane?	9	
Life as a Teenager			
Unit 2	America's Boomerang Kids	15	
Language and Communication			
Unit 3	Politeness in English	21	
Animal Evolution			
Unit 4	How Wolves Became Dogs	27	
Consumer Behavior		No. March and	
Unit 5	The Psychology of Shopping	33	
Democracy Control Cont			
Unit 6	Voting Age	39	
Music and Brain			
Unit 7	Why Dance?	45	



本書の構成と使い方

各 Unit は Step 01 ~ 08 で構成されています。それぞれの Step の目的と使い方を説明します。

Step 01

本文を読む前に、知っておいてほしいこと、考えてほしい ことを取り上げています。インターネットで調べたり、ペ アで話し合いましょう。本文の理解を深めるために、英語 を使って積極的に取り組んでみてください。

Step 02

様々なトピックの本文(約 350 語)を読みましょう。読み 始めの時刻と読み終わりの時刻を記入し、自分のタイムを 計測してみてください。7 分で読めば約 50 wpm、3 分 30 秒で読めば約 100 wpm となります。 ※ wpm は words per minutes の略

Notes

読解のヒントとして、難しい語句には日本語の訳例をつけて あります。必要に応じて参照してください。

Step 03

本文の要約文を完成させる問題です。空欄に指定されてい る文字で始まる語句を記入して、要約文を完成させましょ う。Step 07 の準備練習にもなります。

Step 04

本文について、それぞれ異なった意見を持つ4人のキャラ クターの発言を比較して、本文を最もよく理解をしている キャラクター1人を選びましょう。選ばなかったキャラク ターの意見についても、どこが本文と違うかを考えてみま しょう。



Who's Flying

the Plane?

Unit

 Ball photology and complex current systems are always represeng and public systems can always. The data may come when you that which a data his mulark, and oneaction, with our has constrained prime join that parent.

Barrowing to the particip, what can accounted systems du?





<text><text><text><text><text><text><text><text><text>

Step 05

本文中の語句を取り上げ、それがどのような場面で使われ ているか思い出して、ペアで話し合ってみましょう。英語 の表現を理解して使えるようになるためには、この「思い 出す」という過程が不可欠です。本文を見返さずに自分な りに思い出して、自由にペアで話し合ってみましょう。前 後の文脈を思い出すことで英単語の知識も定着していきま す。

Step 06

本文中の5つの語句を取り上げています。それぞれの語句 を含む文全体に下線を引いて、それぞれの語句がどのよう な意味で使われているか考えてみましょう。Step 07 とも関 連してきます。

Step 07

本文の要約文を書いて、グループで発表し合いましょう。 難しい場合は、Step 06 で下線を引いた文の表現を使って書 いてみてください。

Step 08

本文の内容について、4人のキャラクターの意見を読んで自 分の考えと比べてみてください。次にペアやグループで話 し合い、最後に自分の考えをまとめてみましょう。これま での活動を通じて、あなたの考えは深まっているはずです。

Who's Flying the Plane?

Unit



Step 01

次の質問について、ペアで話し合ってみましょう。インターネットで調べ物をする場合は、 できるだけ英語で検索してみましょう。

Q1 あなたは飛行機に搭乗した ことがありますか? Q2

未来(たとえば 30 年後)の 飛行機には、どのような機 能が備わっていると思いま すか?

Step 02

次の英文を読みましょう。まずは自分で時間を計りながら読んでください。なお、 難しい語句があったときは、英文の後の **Notes** を見てみましょう。

Who's Flying the Plane?

読み始めの時刻 時 分 秒ごろ

62

 Next time you step onto an airplane, try looking over to your left and peeking into the cockpit. To an ordinary passenger, the many dials, knobs, switches, lights and screens are fascinating and bewildering. Their complexity is a reminder that, as passengers, we are placing our lives in the hands of a highly advanced machine,
and a well-trained pilot with many thousands of hours of flying experience.

2 And yet, today's pilots actually do very little of what we think of as "flying" the airplane. Autopilot systems can now handle most ordinary piloting work, including takeoffs and landings. Self-driving cars, trucks and buses have yet to become common on the streets, but up in the sky, today's airliners are largely self-flying.
10 Surveys of airline pilots show that on a typical flight, a human pilot only spends a

few minutes in full control of the airplane.

³ This has led some airlines to question whether they really need pilots. Flight crews represent about 10% to 15% of an airline's total costs. Eliminating them could reduce the cost of travel for everyone, and help struggling airlines survive.

¹⁵ Also, there simply aren't enough well-trained pilots around the world. Over the past 30 years the number of airline pilots has decreased by 30%. Many airlines often have to cancel flights because they can't find enough experienced pilots.

• Still, consumer surveys show that few passengers would feel safe with no human pilot. They understand that even if automated systems can fly safely under

- ²⁰ normal conditions, they are not good at handling surprises. Humans get tired, forget things and make mistakes. But when a rare, sudden crisis happens, only a well-trained, experienced human pilot can make the kind of quick inferences and decisions that save lives. This is why every suggestion of eliminating pilots has been stopped by laws and public opinion.
- ²⁵ 5 But autopilot and remote-control systems are always improving, and public opinion can change. The day may come when you step onto a plane, look to your left, and see ... nothing. Will you feel comfortable getting on that plane?

Notes peek ~をのぞき見る cockpit 操縦室 dial ダイヤル knob つまみ fascinating 魅惑的な bewildering 途方に暮れるほど複雑な reminder 思い出させてくれるもの autopilot オートパイロット (自動操縦装置) takeoff 離陸 airliner 航空機 automated 自動化された inference 推理

Step 03

次の英文の要約を完成させましょう。指定されている文字から始まる語句を考えて、文章中 の空欄に記入してください。

Today's airliners are largely self-flying and some people may wonder if we really need pilots. If we 1 (e) human pilots, the cost of traveling could be 10% to 15% lower. However, we may not feel 2 (s) with such an airliner because we have a sense that an airplane is handled by a well-trained pilot who can use the highly 3 (a) machine. When an unexpected 4 (c) happens suddenly, only an experienced human pilot can make a quick decision about what to do. If 5 (a) and remote-control systems become able to do that, the day may come when we step onto a plane without a human pilot.

Step 04

英文の内容に関する質問に、4人が答えています。英文を最もよく理解しているキャラクター を選びましょう。



What kind of problem is explained in this passage?



64





Q2

Step 05	英文のなかで、次の語句はどのような場面で使われていましたか。それぞれの語句が含まれ ていた文(または段落)の内容をできるだけ思い出して、ペアで自由に話してみましょう。
.0	Q1 to your left (あなたから見て左に) どこから何を見ているのでしょうか? Q2 cancel (取りやめる) 欠航の意外な原因は…
Step 06	英文をもう一度読みながら、 次の語句①~⑤が使われている文 を探してください。 それぞれ の語句を含む文全体に下線を引き 、文中での語句の意味を空欄に書きましょう。
	ually() ② landing(
Step	英文の要点を英語で書いてみましょう。書き終わったら、グループで要約を発表し合いましょ う。
	Step 6 で下線を引いた文の 表現を使ってみましょう。 関れてきたら、英文を見返さずに チャレンジしてください。

英文の概要を理解した4人が話し合いを始めました。あなた自身の考えと比べてみ ましょう。



Do you really think so? Traveling in the air is fundamentally different from traveling on the earth. If an accident happens during flights, it is almost impossible for people on land to rescue the passengers.

> Hmm... It's not only a matter of safety. You step onto a plane, say hello to flight attendants, take a seat, and listen to the greeting by the pilot on board. These are all essential to your flight experience.

So, Jody and Noel are not really in favor of airliners with no human pilot, right? But I would say that we should accept the change. Many problems like flight cancelations should be solved as soon as possible.

あなたもペアやグループで話し合いをしてみましょう。また、最終的な自分の考えを書いてまとめま しょう。





Tracy





Ariel